

## 無料 ICT ツールを活用した「PTCA の見える化」自主活動

ーブログ、SNS を活用した情報シェアリングー

鈴ヶ森小学校ホームページボランティア 加藤 文彦

鈴ヶ森小学校PTA 会長 尾上 秀彦

suzushopp@gmail.com

キーワード：PTA、広報、親、保護者、ホームページ、ウェブ

### 1. 従来の課題

全容が見えない不安からか、とかく難しい・面倒だと敬遠されがちな現状が本校PTAにあった。

そのため一部の保護者からは「PTAが何をやっているか、もっと積極的に会員各位へ広報していったらどうか」との意見が出されていた。本校では従来からPTA広報委員会があり広報活動をしていたが、主たる活動の広報誌発行が年2回だけであり、情報発信頻度としては多くなかった。

またインターネット上で本校PTAのホームページ(ウェブサイト)もあったが、数年前から情報が更新されていないなど、何年も前の年間予定表が掲載されているなど、アクセスしたPTA会員をがっかりさせ、関心をかえってそいでしまうような状況があった。

それに加え、PTAからは紙媒体の配布物、例えばPTA行事の案内、校庭開放日のお知らせなどを児童を通して配布していた。しかし児童も高学年になると配布された紙を保護者に渡さず、ランドセルに入れっぱなしということもしばしば起き、保護者へ情報が伝わらないということがあった。

広報活動のあり方に加え、PTA会員もフルタイムの仕事、乳幼児の育児、介護等で忙しく、PTCA活動に興味があっても参加する機会をなかなか作れないという現状があり、それが会員をPTCA活動から遠ざけている面もあった。

そのようなわけで、

- ・PTCA活動をもっと会員各位から「見える」ような活動にし、会員各位のPTCA活動への参加を促すこと

- ・忙しい会員でも何らかの活動ができるようにすること

が課題となっていた。

### 2. 目的・目標

(1) PTCA活動の様子、PTAからの連絡事項を適時に伝えるPTCA活動の「見える化」

ICTツールを活用して従来の手段に加えて情報が適時に会員へ届くような仕組みを新たに作る(随時更新されるホームページ)。

ホームページにより、PTAが何をやっているかが「見える」ようにする。そして会員にPTCA活動を身近なもの、敬遠しなくてもいいものと感じてもらおう。

#### (2) 学校以外でもできるPTCA活動を

PTCA活動というと、「平日に学校へ赴いて行う活動」と考える人も多い。現状では、PTCA活動に興味があるが、仕事、育児、介護で学校へ足を運ぶ余裕がないという会員も多い。自宅でもできる活動としてはバルマーク集め・整理もあるが、ICTツールを利用すれば自宅で気軽にできるPTCA活動も考えられる。そこで、ICTを活用した気軽にできるPTCA活動を考えてみる。

### 3. 実践内容

#### 3. 1 PTAホームページの作成

数年前に作成された更新されていない本校PTAのホームページ(ウェブサイト)があった。PTCA活動の「見える化」の一環として、これを大幅刷新し、情報の更新も随時行っていき、会員へ情報が適時に伝わるようにした。

他校の参考になると思われる点を中心に報告する。

#### ●費用

PTAという組織上、予算もないので無料で借りられるホームページレンタルサービスを検討した。

小学校本体にもホームページがあり、そのディスク領域を一部借りるという考えもあった。しかし小学校本体のホームページはその時々校長先生によって方針が変わることがあり、今後どうなるかわからない。よって小学校本体とは別のサービスを借りて運営することとした。

無料のホームページレンタルサービスでは広告が表示されるのが常である。人によってはPTCA活動に広告が入るのを良しとしない人もいる。しかし費用をかけずに行うには仕方がないことだと割り切って、無料のホームページレンタルサービスを利用することにした。现阶段でも無料のホームページレンタルサービス(FC2.COM)を使っている。本校PTAブログ  
<http://suzushopta.blog.fc2.com/>

#### ●ホームページボランティア募集

ホームページの更新をしていくにあたり、広く会員からボランティアを募った。比較的コンピュータに詳しいボランティア数名が当初応募し、PTAからの随時のお知らせ等の更新作業を担当した。

#### 3. 2 ホームページ更新作業ボランティアの拡充

比較的コンピュータに詳しいボランティアによって行われた更新作業であったが、更新作業に若干のコンピュータの知識を要するものであったため、作業者の募集をしても人が集まらないという状況があった。

#### ●ブログ形式の採用

コンピュータの知識がそれほどなくても更新作業ができるよう、2013年からは「PTAからのお知らせ」を更新方法が簡便なブログ形式で更新するようになった。

このときと機を同じくして数名の新しいホームページボランティアが増えていた(口コミ勧誘による増員)。新規ボランティアは、それまでのボランティアほどにはコンピュータの知識を持ち合わせているわけではなかった。しかし、更新方式がより簡便なブログ形式になっていたため、新規ボランティアでも更新作業を行うことができた。これにより負荷が分散され、また更新作業は自宅またはスマートフォンから行うので、ボランティアへ参加しやすくなった。

現状ではほぼ毎週新しい情報が掲載されている。給食メニュー等に限って言えば毎日新しい情報が掲載されるようになってきている。

このブログ形式であれば、他校でも比較的容易にPTAホームページを開設できるものと思われる。

### 3. 3 ツイッター、フェイスブックの活用

PTAホームページに加え、ツイッター、フェイスブックのアカウントも取得し、そちらからもホームページと同様の情報を発信している。

これにより多くの経路でPTA会員各位とつながることができている。

こちらはアカウントを取得するだけで使えるようになるので、他校でもすぐに導入できると考えられる。

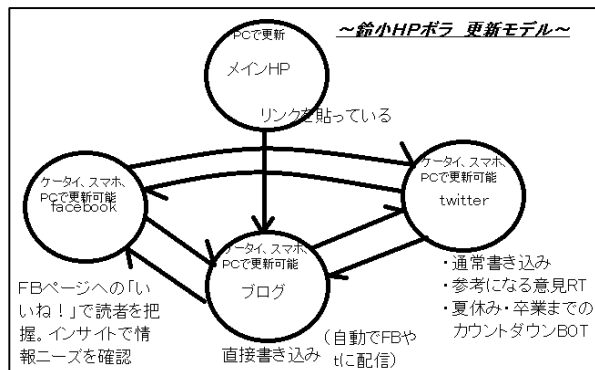


図1 ホームページ更新モデル

### 3. 4 インターネットの安全な使い方講習会

ボランティア人員が増えてくるに従い、現代の児童周辺のICT環境にも関心が向き、周囲へ啓発していく動きも生まれた。

2013年7月には外部講師を招き「インターネットの安心・安全な使い方」講座を本校保護者・近隣地域住民にむけて主催した。

### 3. 5 運営上の情報共有のためのICT活用の工夫

ボランティア間の運用のための情報交換も当初は同報メール(cc)を使用していた。しかし途中から加入するメンバーには再度最初から説明したり、話の経緯が判りにくいという不便が生じることがしばしばあった。現在、無料グループウェア(サイボウズ)での連絡・情報交換を基本としており、そのため、話題の経緯・変遷が見えやすくなっている。また途中から活動に参加した場合も、それらの話題や過去の話題をさかのぼって閲覧することで、在籍した時期にかかわらず同一情報を取得することが容易にでき、活動の進展を妨げることなく、かつ新規参加者を孤立させることなくスムーズな参画が図られている。

こちらはアカウントを取得するだけで使えるようになるので、他校でもすぐに導入できると考えられる。

## 4. 成果

### 4. 1 PTCA活動の見える化

自校の児童周辺の最新情報がフェイスブックなどあらゆる媒体を介して随時情報提供されることにより、児童をとりまく環境が「見える化」された。

2013年12月のPTAブログ訪問者数は約200人。鈴ヶ森小学校家庭数は約400。会員からの「ブログ見てます!」という声もしばしば届けられている。

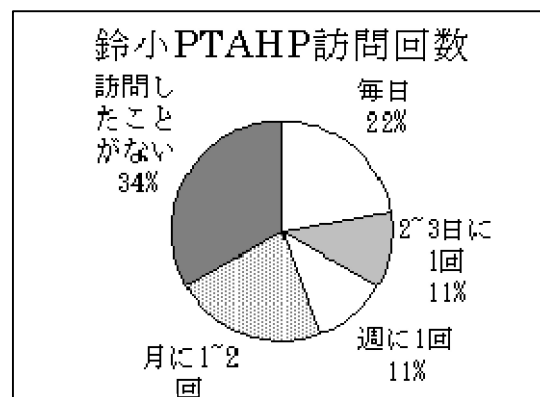


図2 ホームページ訪問回数 (講習会参加者へのアンケート結果)

### 4. 2 身近なPTCA活動へ

ホームページボランティアは自宅のパソコン、スマートフォンから更新活動を行っている。学校まで出向かなくてもできるので、PTCA活動参加への第一歩を容易にしている。

### 4. 3 ホームページボランティアの感想

ボランティアに関わって良かった事として

「PTAとかとは違う形で子供達の小学校生活を見守りながら、学校に携われる事」

「ほぼフルタイムで働いており、さらに未就学児がいるため普段中々学校に足を運ぶことが難しく、故に学校関係の知人が増えにくい、情報が入りにくいという事があるのですが、こういった活動に参加して学年を超えた知人ができる、さらに電子掲示板等のツールを活用する事により、直接足を運ばずとも情報の交換が可能であるというのが最大の収穫」

「ボランティアならではの自由参加の中で多くの意見を見聞きする貴重な経験を積めたこと。学年、役職の壁がなく知り合えたことに今後のPTA活動への意欲も高まりました」

などが挙げられている。

### 4. 4 今後のPTCA活動への好影響

PTCAが何をし、何を今求めて(協力を募っているか)をリアルタイムで地域、PTA会員に伝えられることで、関心が寄せられ、更に理解者・協力者・参加者の増加を生むことは、現PTCA委員・役員の活動承認行為にもなり、動機として半ば義務的に担ったかもしれない活動であっても終えるときには「やってよかった」という思いが生じ、次世代への好影響につながる傾向が芽生えている。今年1月に行われた来年度PTA役員、委員選考会においても例年に比べて「引き受けても良い」という保護者が多かった。

また近隣小学校PTCAにも対比をもって良い刺激素材を与えており、本校で施行した行事への問合せも寄せられ、本校の活動が地域全体へ波及し、良い影響を与えて続けている。

深まった絆に感謝しつつ、ICTを活用したPTCA活動の発展と可能性を模索しつづけたいと望む。